

ちいきの大学

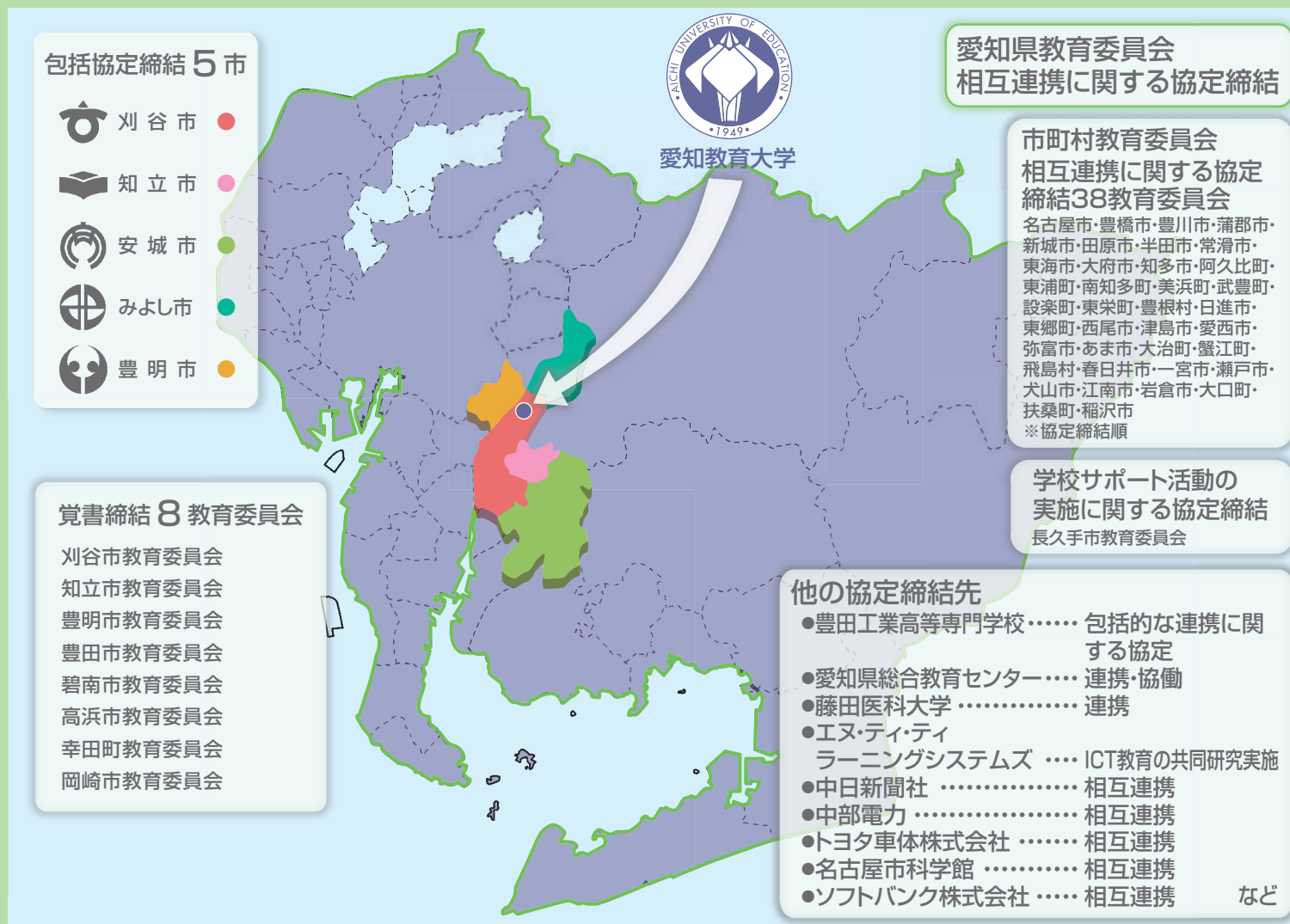


18号

Contents

- 地域連携センターの主な活動
- 学校教育支援部門の活動
- 企業連携部門の活動
- 地域活性化部門の活動
- SDGsへの取り組み
- 2021(令和3)年度 愛知教育大学 公開講座 開設一覧

愛知教育大学は教員養成に特化した広域拠点型教員養成大学として、広く社会と連携し、教育研究の成果を還元しながら社会の発展に貢献します。



地域と大学との協働を目指して

地域連携センター長 土屋 武志

愛知教育大学は、社会連携をさらに進め、広域拠点型教員養成大学として信頼される大学となるよう努力しています。その結果、教育委員会をはじめ多くの機関・企業等との連携協定にもとづく活動が充実してきました。従来、本学に期待される連携のキーワードは、「子ども」「教師」です。これに加えて近年は、「市民」も加わっています。つまり「(多文化社会での)市民」の学びを支える連携も期待されるようになりました。次世代育成の視点から地域の未来を共に創る連携をいっそう進めたいと思います。SDGsをはじめとする新しい試みに、より多くの皆さまの声をお聴かせください。

—— 地域連携センターの主な活動 ——

地域連携フォーラム2020

12月26日(土)、刈谷市中央生涯学習センターにて「地域連携フォーラム2020」を開催しました。

本フォーラムは、地域貢献のあり方や地域連携活動などをテーマに地域連携センターが毎年開催しているもので、今年度は、藤田医科大学と共催で「医教連携によって開発した食物アレルギー等緊急時対応プログラムの実践—そなえる&ふせぐ安心な学校づくり—」をテーマに行いました。



前半は、本学養護教育講座の岡本陽准教授より実際に起こった誤食事故(インシデント)の事例分析を行い、学校におけるアレルギー対応体制について説明がありました。次に、藤田医科大学地域連携教育推進センター長の石原慎教授より、アナフィラキシーの症状等について実際の写真や音声による具体例を交えて説明がありました。後半は、座学では修得できない緊急時の対応について、人形と練習用注射器を用いて参加者全員が実際にシミュレーションを体験しました。

教育現場等での課題である食物アレルギーへの対応について、貴重な機会を提供することができ、今後につながる有意義なフォーラムとなりました。



愛知県ユネスコスクール指導者研修会

10月17日(土)、名古屋市にあるウィルあいちにおいて、「愛知県ユネスコスクール指導者研修会」を開催しました。

本学は、県内のユネスコスクールを支援する支援校として活動しており、本研修会はその活動の一環として、毎年開催しています。

令和2年度は初めての取り組みとして、愛知県教育委員会と共催し、「愛知県ユネスコスクール交流会」(愛知県教育委員会主催)と同日、同会場で開催しました。また、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、オンライン参加と会場参加を併用するハイブリッド式で開催しました。

はじめに文部科学省国際統括官付国際統括官補佐の堀尾多香氏から、「ESDの推進とユネスコスクールへの期待」と題した講演がありました。



講演会後の実践発表は分科会方式で実施し、幼稚園と小学校の分科会では奈良市立六条幼稚園、オンライン参加で、京都市立朱雀第四小学校、本学附属名古屋小学校より発表がありました。

中学校と高等学校の分科会では、大牟田市立宮原中学校、本学附属岡崎中学校、岐阜県立池田高等学校から発表がありました。各学校の特色を生かしたESD活動の実践が報告されました。

参加者にとって、今後のESD活動への取組や研究の参考となる有意義な研修会となりました。



公開講座

愛知教育大学では、教育研究の成果を広く社会に還元する目的で、教員を対象とした免許法認定公開講座や専門性向上講座、教育委員会との共同開催で行う教員研修講座以外に、生涯学習の推進のため、一般対象として近隣市教育委員会と連携して行う連携公開講座や、学内開催の講座を各コース別に実施しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ほとんどの公開講座を中止としましたが、状況を見ながら、開催に至った講座もあります。

「日本女性会議あいち刈谷」実行委員会と本学地域連携センターの共催で企画した連携公開講座は、YouTubeによるオンライン配信という形で開催することとなりました。

「日本女性会議」は、日本で最大規模の男女共同参画に関する会議です。第37回の開催地として刈谷市が選ばれ、11月に「日本女性会議2020あいち刈谷(ミライク会議)」がオンラインにて開催されました。

その実行委員長を務めている本学家政教育講座の山根真理教授が「日本女性会議2020あいち刈谷(ミライク会議)」の開催に合わせ、この連携公開講座を企画しました。



7月19日(日)、刈谷市内のホールにてオンライン講座の収録が行われました。「女性作曲家と知られざる名曲 ～お話と演奏～」と題し、音楽教育講座の國府華子教授によるピアノ演奏と、金原聡子准教授の歌唱を中心に、女性作曲家の紹介や作品にまつわるエピソードを交えた心温まる楽しい講座です。

國府教授、金原准教授の演奏は大変素晴らしく、お二人のトークも魅力いっぱいの講座となりました。

選挙出前トーク

1月13日(水)、刈谷市立富士松北小学校にて、本学の学生が「選挙出前トーク」を実施しました。

この事業は、本学と包括協定を締結している刈谷市との選挙啓発連携事業であり、児童生徒に選挙

に関心を持ってもらうことを目的に、本学の学生が刈谷市内の小中学校に出向き選挙に関する説明や模擬選挙を行うものです。

令和2年度は、学生ボランティアとして集まった1年生の学生5名が、刈谷市選挙管理委員会の協力のもと実施しました。

校長先生を選ぶ模擬選挙では、候補者の演説を聞き投票に悩んだり、選挙に関するクイズでは、予想外の答えに驚きの声が上がったりと、選挙について楽しみながら学ぶ子どもたちの姿が見られました。



高校訪問授業

高等学校と大学との連携の一つの形として、大学で実際に行われている講義・授業等を身近に体験することで、高校生の大学に対する理解を深め、進学意欲を高めることを目的に高校訪問授業を実施しています。

令和2年度は、愛知県内外の19の高校へ本学教員が出向き、約700名の高校生に大学の模擬授業を体験していただきました。高校訪問授業の実施や申込等については、本学HP(下記URL)をご参照ください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/sham.html>

教員派遣・講師派遣

地域連携センターでは、講演会・研修会等の講師や研究会での指導・助言者、各種審議会等の委員など、地域からの相談や要請に合わせ、各種講師派遣を行っています。

詳しくは、本学HP(下記URL)をご参照ください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/instructor.html>

学校教育支援部門の活動

豊田市との連携協定

2月4日(木)、豊田市役所にて、豊田市と本学との教育・保育及び子育て支援分野における連携協定を締結しました。

協定の締結式には、本学からは、野田敦敬学長、杉浦慶一郎連携・附属学校担当理事、幼児教育講座の新井美保子教授が出席し、豊田市からは、太田稔彦市長、杉坂盛雄子ども部長が出席しました。

締結式では、学長及び市長による協定書への署名が行われ、署名後の懇談では、お互いの現状や今後の展望などについて共有しました。野田学長からは、本協定をきっかけに連携を深めていきたいなどと話があり、締結式を終えました。

今回の締結により、本学が教員及び保育者養成校として培ってきた人材・知財と、豊田市がこども園を始めとする施設の運営により培ってきた知識や経験を相互に活用することで、教育・保育の質の向上を図り、地域社会の発展に繋がてまいります。



学校教育部門 田口 達也准教授のコラム

令和2年は学校教育にとって転換期でした。コロナウイルス感染拡大防止のため休校となり、学習形態の変更を余儀なくされたため、学校現場では創意工夫を凝らして学習者の学習継続を試みられたと思います。

しかし、私たちの日々の生活には学習を妨げる数々の誘惑があり、思うように学習に集中することができません。心理学の研究によれば、自分の気持ち・行動を目標に合わせて調整する「自制心(セルフ・コントロール)」が、学業的にそして社会的にも成功する鍵であると言われています。学校生活を通じて自制心を培う教育も、今後は必要になるのではないのでしょうか。

教育委員会との新規連携協定

本学は、令和2年12月24日(木)に丹波地区3市2町教育委員会(犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町)と、令和3年2月12日(金)に稲沢市教育委員会と相互連携に関する協定を締結し、協定等の締結により連携する愛知県内の教育委員会は49教育委員会となりました。

今後は、各教育委員会と相互に連携をすることで学校教育上の諸問題の解決と充実を図り、教員養成に特化した教育の総合大学として、さらに地域との連携を深めていきたいと思っています。

近隣市首長等によるリレー講義

教育支援専門職養成課程教育ガバナンスコース2年生向け授業として後期に開講した講義「実践地方自治概論」(担当教員:水谷仁非常勤講師、西尾圭一郎准教授)において、昨年度に続き、地方自治の実践に関する特別講義を実施しました。

授業は、前半7回を座学で行って地方自治や政治の基礎を学び、その上で地方自治の実践家による特別講義を聞くという授業内容で計画されました。みよし市総務部人事課の岩川翔主査、名古屋市教育委員会事務局総務部の平松伸晃主幹、愛知県の松井圭介副知事、豊明市の小浮正典市長、安城市の神谷学市長、知立市の林郁夫市長、刈谷市の稲垣武市長がそれぞれ登壇され、各市の特色、取り組みなどのほか、学生に向けたメッセージを伝えてくださいました。

各市のご協力により学生の今後の学びにつながる大変貴重な機会となりました。



— 企業連携部門の活動 —

企業と学生のグループディスカッション

12月17日(木)にプライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社と本学学生が、電池を使った新サービス企画についてのグループディスカッションを行いました。

美術教育講座の井戸真伸教授の指導のもと、美術教育講座所属の学生が3つのグループに分かれ、現在検討中である新サービスの受容性やデザイン性について意見交換を行いました。その後、全体で各グループの意見を発表し、新サービスの発展について考えました。

学生にとって、企業の企画立案の機会に触れる貴重な経験となりました。



企業連携部門 西尾 圭一郎准教授のコラム

大学が地域の企業と連携を取るという、いわゆる産学連携という言葉はイメージしますが、それほど大げさでなくてもいいと個人的には思っています。大学生が地域の企業を知る、地域の産業を知る、地域で働く人々の活動を知る、社会に入り、次世代の人材を育てる。そういった活動を企業とともにやる、地域の課題を企業と考える、そんな身近なこともまた、企業連携の重要な活動だと思います。

本学では協定等を結んだ企業との活動もありますが、協定等を結ばない形で学生と企業が関わることは、それ以上にあります。そういった活動もしっかりサポートできるのが、これからの地域連携、企業連携ではないか、そう考えて活動しています。

— 地域活性化部門の活動 —

かがやけ☆あいちサスティナ研究所への参加

12月13日(日)、愛知県の環境教育事業「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」令和2年度の研究員による成果発表会が愛知学院大学名城公園キャンパスのキャッスルホールにて開催されました。



本学からは4人の学生が参加し、それぞれ(株)ソーラコーポレーション、日本ガイシ(株)、中部テレコミュニケーション(株)、吉本興業(株)の研究員として企業から提示された環境課題に対する解決策を検討してきました。

成果発表会では、課題解決策のプレゼンテーション及び研究員への修了証授与、発表に基づく審査が行われ、本学の学生が所属するチーム日本ガイシは最優秀賞を受賞しました。

四者協定に基づく連携事業

例年、刈谷市、刈谷駅商店街振興組合、刈谷商工会議所と本学との四者協定事業の一環として、刈谷駅近辺での学生の彫刻作品展示や子ども向けの造形ワークショップを実施しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面で行う造形ワークショップの実施が難しい状況でしたが、自宅で過ごさなければならない子どもたちに向けて、立体と工作の造形指導動画を学生らが計12本作成し、刈谷駅前商店街のYouTubeチャンネルで公開しました。子どもたちが各自で工夫できるポイントも提案しつつ、材料や道具は、一般家庭や100円ショップなどで準備可能なものを使用したことで、自宅でも楽しめる造形ワークショップとなりました。



—— SDGsへの取り組み ——

本学は地方創生SDGs官民連携プラットフォームに加盟し、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

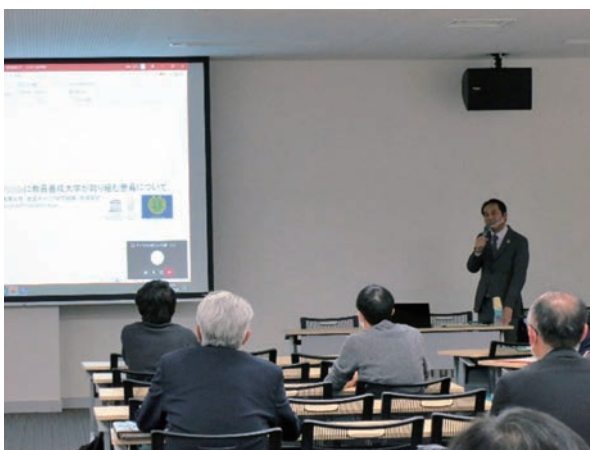
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



全学FD講演会「SDGsセミナー」

10月28日(水)、本学の教職員及び学生にESD・SDGsの理念をさらに広め、取り組みを発展させるために、宮城教育大学教員キャリア研究機構の市瀬智紀教授を講師に招き、全学FD講演会「SDGsセミナー『ESD/SDGsに教員養成大学が取り組む意義』」を開催しました。

リアル開催とオンライン開催の併用で計119名の参加があり、地域のSDGs未来都市や県内160以上のユネスコスクールとともに、教員養成大学が取り組む意義や可能性について考えるきっかけとなりました。



愛知県・一宮市共催事業 「Let's エコアクション in AICHI」への協力

11月28日(土)、一宮市の尾張一宮駅前ビル3階シビックテラスにて開催された環境イベント「Let's エコアクション in AICHI～ふみだそう！未来へつながるエコアクション～」に本学がブース出展の協力を行いました。

本イベントでは県内の企業やNPO団体が環境やSDGsに関する活動を紹介するブース出展を行う中、本学理科教育講座大鹿研究室の学生によるSDGsや環境保全に関する教育プログラムの実演体験の提供を行いました。



「中学生のためのSDGsスタートブック」を用いた授業の実施

1月20日(水)に附属岡崎中学校 1年A組でSDGs普及啓発冊子「中学生のためのSDGsスタートブック」を用いた授業実践を行いました。

本冊子は2019年に内閣府から「SDGs未来都市」に選定された愛知県が、次代を担う若者にSDGsについて意識しながら行動する重要性を学んでもらうことを目的として作成したもので、本学の理科教育講座 大鹿聖公教授が監修しています。



今回の授業実践者である今泉匡博(いまいずみまさひろ)教諭は「SDGsを知っている?」「どうしてsは小文字なの?」など、生徒の興味を引き付けながら概要を説明し、スタートブックの内容にそって授業を進めました。

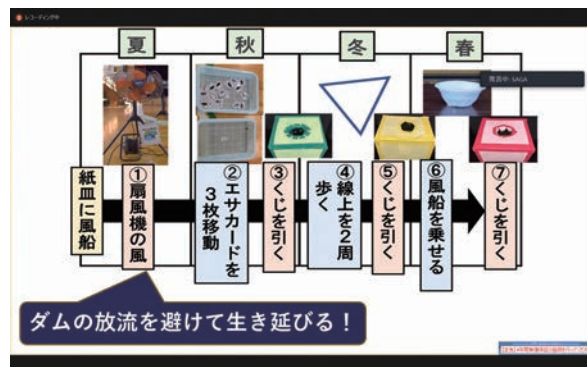
生徒からは「地震の時のことを考え、近所の人たちとのつながりを守っていきたい」「SDGsは知っていたけれど、環境や貧困以外の視点もあると分かった」といった感想が聞かれました。

SDGs AICHI EXPO 2020への出展

オンラインで開催された、日本最大級のSDGsイベント「SDGs AICHI EXPO 2020」に本学がブースを出展し、2月5日(金)～3月7日(日)の期間中、公式Webサイトにて本学の取り組みが公開されました。

また、本イベントと同時に開催された「生物多様性とSDGs多世代フォーラム」「愛知学長懇話会SDGsリレーシンポジウム」に本学の学生団体SAGAが参加しました。

SAGAは愛知県主催の「生物多様性とSDGs多世代フォーラム」内「生物多様性とSDGs多世代ワークショップ」のテーマA「生物多様性とひとづくり」で発表を行いました。固有種の一生を疑似体験する教材や、生態ピラミッドの下位の生物がいなくなるとその上位の生物もいなくなってしまうことを体験する「ピラミッド八並べ」など、SAGAが開発したさまざまなSDGs教材とその授業実践を紹介しました。そして、同テーマで発表を行った(株)カトー建設、ネイチャーklub東海の方々と、どのように連携していけるかの意見交換を行いました。



また、「愛知学長懇話会SDGsリレーシンポジウム」は、愛知県下の国公立大学の連携組織である愛知学長懇話会の主催でオンライン開催され、愛知県内外より11団体が参加しました。

本学からは「人材育成のためのSDGs」と題して、持続可能な社会の担い手となる児童・生徒の育成、そしてそれを可能とする教員の育成を目的に実施してきた、理科教育講座 大鹿聖公教授の研究室での取り組みや、SAGAによるSDGsを学ぶための教材開発と教材を使った活動について発表が行われました。

教員養成大学である本学らしい発表内容で、シンポジウム参加者による投票で最優秀賞に輝きました。



2021(令和3)年度 愛知教育大学 公開講座 開設一覧

●一般対象公開講座

種 別	区 分	講座番号	講 座 名	開 催 日
大学主催の公開講座	アカデミックコース	一般(1)	AUE 日本語指導講習	詳細は本学ホームページにて
		一般(2)	Pythonによるプログラミング入門	9月18日(土)
	カルチャーコース	一般(3)	街づくりを通してSDGsを学んでみよう SDGs未来都市の市民として	7月16日(金)
		一般(4)	唱歌の魅力再発見! ~演奏と背景から迫ってみよう~	7月17日(土)
		一般(5)	3Dプリンタ入門講座	7月22日(木)
		一般(6)	かな書道入門(好きな言葉を色紙に書く)	8月23日(月)
		一般(7)	指揮法入門	8月25日(水)
		一般(8)	オープン粘土で干支づくり	10月23日(土)
	高校生コース	一般(9)	日本語教育の世界を見てみよう	7月17日(土)
		一般(10)	数の不思議	7月27日(火)、28日(水)
		一般(11)	高分子の化学	8月4日(水)
		一般(12)	太陽活動とその地球気候への影響~最新の太陽像から学ぶ太陽と地球の過去、現在、未来~	8月7日(土)
		一般(13)	イタリア、日本歌曲の歌い方の基礎を学ぶ	8月28日(土)
		一般(14)	ミクロ生物の世界を覗いてみよう!	9月11日(土)
	小中学生・子育て支援コース	一般(15)	連風を作って、あげてみよう!	7月3日(土)
		一般(16)	キャンドルホルダーを作ろう(ガラス工芸)	7月17日(土)
		一般(17)	描いて!作って!鳴らして遊ぶ!!音・色・形によるアートの世界	7月17日(土)
		一般(18)	ICT支援員と学ぶプログラミング	8月19日(木)
協定締結市との連携公開講座	刈谷市	一般(19)	日常生活のはてな? ~身の回りの科学技術のひみつ~	6月27日(日)
		一般(20)	地層、岩石、化石から探る郷土の大地の成り立ちと特徴	11月14日(日)
	知立市	一般(21)	増える?減ってる?あいちの両生類	7月10日(土)
		一般(22)	少年司法制度を考える	9月11日(土)
	豊明市	一般(23)	キャッシュレス化の未来像 ~中国やインド等、諸外国との比較から~	9月18日(土)
		一般(24)	『もののけ姫』における〈差別の問題〉について	11月6日(土)
	安城市	一般(25)	向き合う絵画 ~なぜ仏画は正面向きなのか?~	10月2日(土)
		一般(26)	良好な関係を構築するためのコミュニケーション技法	11月6日(土)
	碧南市	一般(27)	タンポポからわかる生物多様性とDNA鑑定(PCR法)の体験	6月26日(土)
		一般(28)	親子で楽しもう「お菓子のペン画」	7月17日(土)
	高浜市	一般(29)	ドイツの教育事情 ~日本との違い~	7月17日(土)
		一般(30)	次世代社会をどう生きる? 安全な情報コミュニケーション力を学ぼう!	9月11日(土)
	みよし市	一般(31)	銀河とブラックホールの世界	10月23日(土)
		一般(32)	「親子で学ぼう!」水について学ぼう	6月5日(土)
	名古屋市	一般(32)	「親子で学ぼう!」親子で考えるお金の話:教育とお金、デジタル時代に知っておきたいこと	6月12日(土)

●教員対象公開講座

種 別	区 分	講座番号	講 座 名	開 催 日
専門性向上講座		教員(1)	プログラミング入門 ~算数との関わりを中心に~	6月12日(土)
		教員(2)	小学校外国語評価演習	6月19日(土)
		教員(3)	プログラミング入門 ~小学校理科との関わりを中心に~	6月26日(土)
		教員(4)	中学校高等学校教員のためのPythonによるプログラミング入門	7月17日(土)
		教員(5)	日本語教授法入門	7月17日(土)
		教員(6)	授業におけるICT活用入門	8月19日(木)
		教員(7)	ネットいじめに悩む子どもへの接し方 ~教員に必要な8つの意識~	8月28日(土)
		教員(8)	私たちの暮らしと電気	10月9日(土)
シリーズ講座		教員(9)	プログラミング学習を成功させる指導計画と授業づくり	7月3日(土)
		教員(10)	はがき新聞で高まる語彙力と表現力	7月3日(土)
		教員(11)	拍手と笑顔の絶えない学級・学校づくり	8月21日(土)
		教員(12)	主体的・対話的で深い学びに向かう授業の進め方	8月21日(土)
		教員(13)	「チームとしての学校」における教育支援専門職理解促進講座 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの有効な活用	8月25日(水)
		教員(14)	問題解決的な学習づくりに変える「四色板書」	9月4日(土)
教育委員会との共同開催事業	東三河地区	教員(15)	スクールリーダー研修 ~次世代の学校づくりと学校マネジメント~	6月19日(土)
	知多地区	教員(16)	「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善	7月29日(木)
	春日井市	教員(17)	自立活動を軸としたカリキュラムマネジメントの充実 ~個別最適化と協働的な学びの実現に向けて~	11月9日(火)
		教員(18)	これからの学校教育に求められるミドルリーダーの役割と可能性	11月26日(金)

免許法認定公開講座

種 別	区 分	講座番号	講 座 名	開 催 日
特別支援学校教諭 一種・二種免		教員(19)	特別支援教育基礎論A	6月19日(土)、20日(日)
		教員(20)	知的障害者教育総論A	6月26日(土)、27日(日)
		教員(21)	知的障害者教育総論I	7月10日(土)、11日(日)
		教員(22)	肢体不自由者教育総論A	8月26日(木)、27日(金)
		教員(23)	聴覚障害者教育課程・指導法概論A	8月28日(土)、29日(日)
		教員(24)	視覚障害者教育課程・指導法概論A	9月 4日(土)、5日(日)
		教員(25)	聴覚障害者心理・生理・病理概論A	9月25日(土)、26日(日)
		教員(26)	重複障害者教育総論A	10月16日(土)、17日(日)
		教員(27)	視覚障害者心理・生理・病理概論A	12月11日(土)、12日(日)
		教員(28)	LD等教育総論A	1月 9日(日)、10日(月)
養護教諭専修免		教員(29)	学校保健学特論	オンデマンド:7月1日(木)~ オンライン:7月31日(土)、8月28日(土)、9月25日(土)

*免許法認定公開講座については、文部科学省へ認定申請中であり、講座の内容や担当講師を変更する場合があります。
*詳細は本学ホームページ(<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/lecture.html>)にてご確認ください。